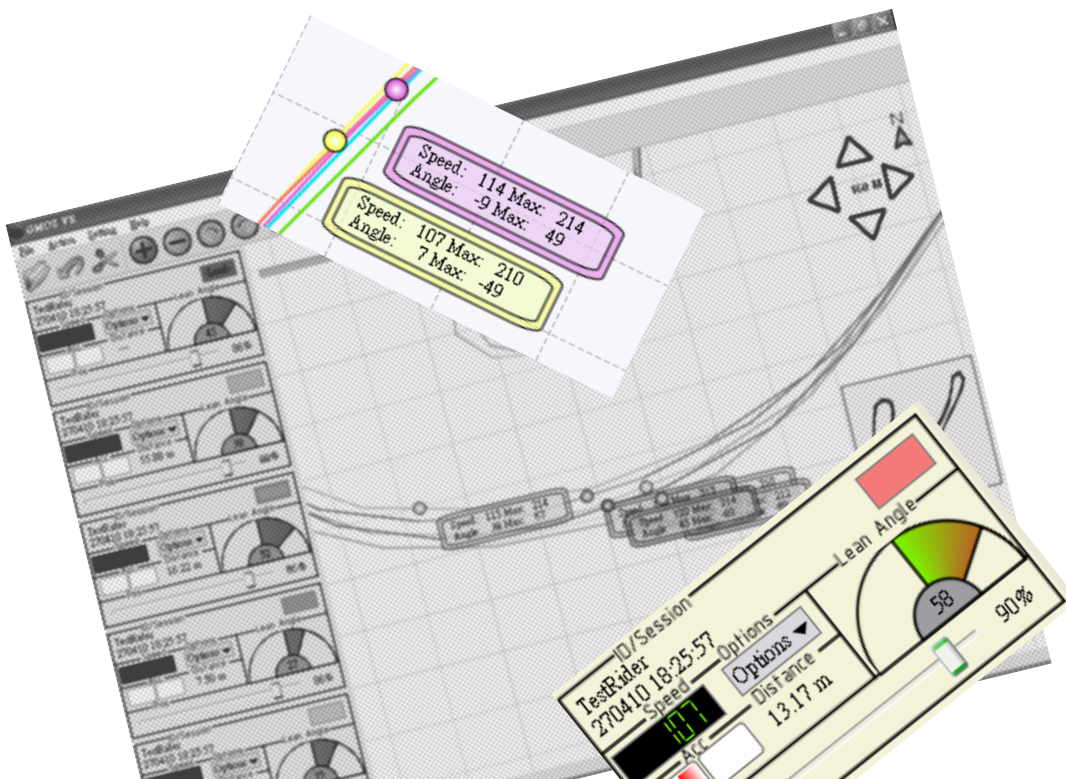


# GMOS VR

1.08



## ユーザーマニュアル

SpeedAngle Inc.

[www.speedangle.com](http://www.speedangle.com)



# 目次

<b>1. システム要求</b>	<b>1</b>
<b>2. 操作環境</b>	<b>2</b>
<b>3. GMOS からのダウンロード</b>	<b>4</b>
GMOS を PC に接続する	4
ダウンロードダイアログ	6
ダウンロードの手順	8
ユーザー情報の更新	10
GMOS トレースログの削除	11
<b>4. トレース操作</b>	<b>12</b>
トレースファイルのロード	12
複数のトレースファイルのロード	13
トレースファイルのアンロード	14
コントロールパネルの概要	15
コントロールパネルの使用	16
メイントレースの設定	16
オプションメニュー	17
トレースの表示	17
上へ移動	17
下へ移動	18
トレースファイルのアンロード	19
バイクマーカーの移動	19
いずれかのスライドバー	19
全てのスライドバー	20
トレースの分割	20

<b>5. マップ操作</b>	<b>24</b>
カメラの移動	24
ズームイン・ズームアウト	24
マップの回転	25
マップポイント	26
<b>6. ディスプレイ設定</b>	<b>27</b>
アンチエイリアス	27
カラー設定...	28
トレースリストの表示	29
プレファレン...	30
単位	31
日付フォーマットのダウンロード	31
GPSドリフトフィルターの起動	31
<b>7. バーチャルレース操作</b>	<b>33</b>
基本操作	33
バイクマーカー位置操作	34
バーチャルレースファイルのエクスポート	34
スナップショットのエクスポート	35
<b>8. トラブルシューティング</b>	<b>37</b>



# 1 システム要求

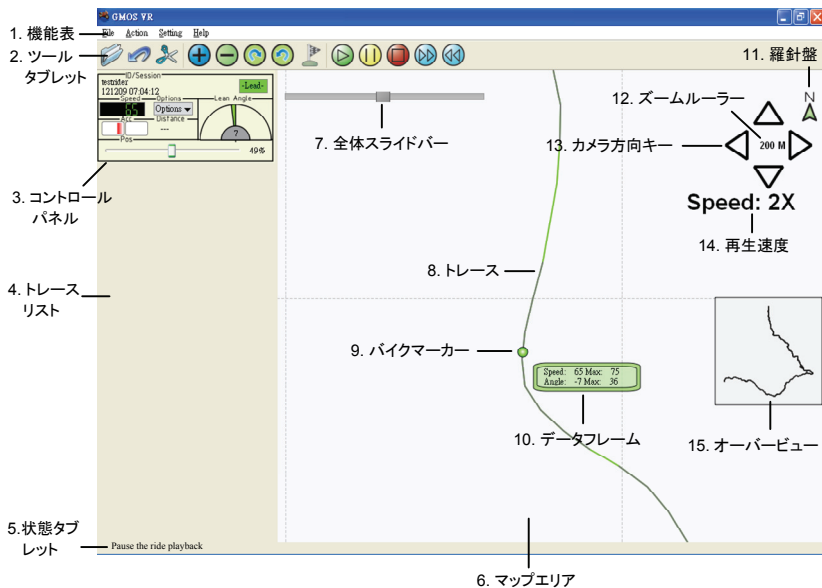
この度は GMOS をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。GMOS は先端テクノロジーを用いており、オートバイ愛好家のために設計された走行記録マシンです。当マニュアルで紹介する GMOS VR ソフトウェアは GMOS システムの一部です。GMOS VR により、走行モーションデータと GPS トレースを結合させ、簡単に自己の走行テクニックを分析することができます。また、お友達のトレースファイルをロードし、PC 上でお友達と一緒に競争することもできます。今すぐ、GMOS VR の楽しさをご享受ください。

GMOS VR のシステム要求をご確認ください。

	最低及び推奨要求	
CPU	最低	Intel® Pentium III® 1.5GHz
	推奨	Intel® Pentium 4® デュ アルコア 2GHz
RAM	最低	1GB
	推奨	4GB
OS	Microsoft® Windows 2000® Microsoft® Windows XP® 32 ビット / 64 ビット Microsoft® Windows Vista® 32 ビット/ 64 ビット	
周辺機器	USB 1.1 (またはそれ以上) で GMOS ダッシュボードユニット に接続 CD-ROM ドライバー	
支援言語	英語	

## 2 操作環境

GMOS VR はインストールする必要がありません。GMOS VR のアイコンをダブルクリックするだけで、プログラムが起動します。GMOS VR 起動後の操作インターフェースは以下のとおりです。



下記リストは GMOS VR 操作インターフェースの各種機能の紹介です。

項目名	機能
1 機能表	GMOS VR の各種機能(トレースファイルのダウンロード、ロード及びアンインストール、トレース実行及びマップエリア操作、設定表示方式など)をリストアップします。

2	ツールタブレット	アイコンで機能表の機能を表示します。
3	コントロールパネル	トレースのモーションデータを表示し、操作トレースを選択します。
4	トレースリスト	ロードしたトレースのコントロールパネルをリストアップします。
5	状態タブレット	マウスが指したツールタブレットボタンの機能または状態を表示します。
6	マップエリア	トレース中のバイクマーカがある区間を表示します。
7	全体スライドバー	再生の進捗を表示し、スライドバーをスライドさせることで、バイクマーカを指定の位置に移動させることができます。
8	トレース	本ファイルの GPS トレースを表示します。
9	バイクマーカ	オートバイの位置を表示します。
10	データフレーム	オートバイの傾斜角度と速度データを表示します。
11	羅針盤	トレースの北を表示します。
12	ズームルーラー	現在のズームイン・ズームアウトルーラーの大きさを表示します。
13	カメラ方向キー	カメラを上、下、左、右に移動させます。
14	再生速度	現在の再生速度を表示します。
15	オーバービュー	トレースの完全なマップを表示し、小さなフレームにマップエリアで表示される区間を表示します。

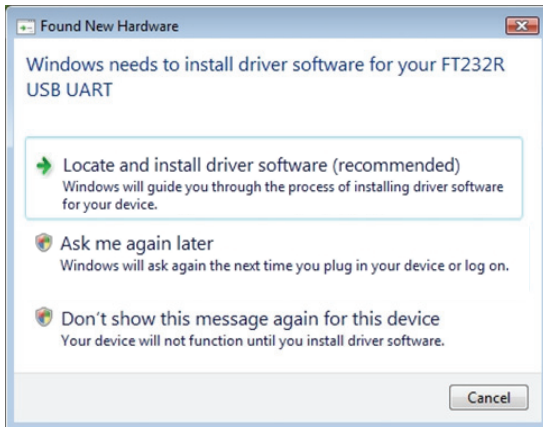


# 3 GMOSからのダウンロード

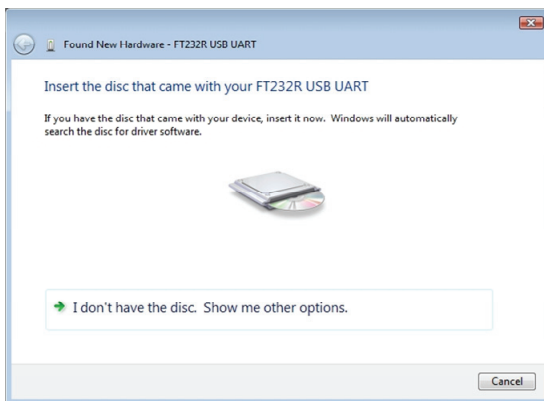
## GMOSをPCに接続する

走行終了後、トレースファイルを GMOS 本体から PC にダウンロードして、分析やバーチャルレースを行うことができます。ダウンロードのステップは以下のとおりです。

- 初めて GMOS を PC に接続させる場合、接続前にまず GMOS の電源をオフにしてください。また、GMOS VRのソフトウェアを閉じてください。
- 付属の USB ケーブルで本体と PC を接続してください。次に、GMOS 本体の電源をオンにしてください。接続に成功すると、GMOS 本体のモニターに「USB CONNECTED」(USB 接続成功)というメッセージが表示されます。
- GMOS 本体は FTDI USB チップを使用して PC と接続するため、Windows に FTDI USB ドライバがインストールされていないと、PC モニターに「新しいハードウェアを検出しました(Found New Hardware)」というダイアログが表示され、新しい FT232R USB UART のドライバをインストールするか、尋ねられます。「ドライバを検出し、インストールする (Locate and install driver software)」をクリックしてください。

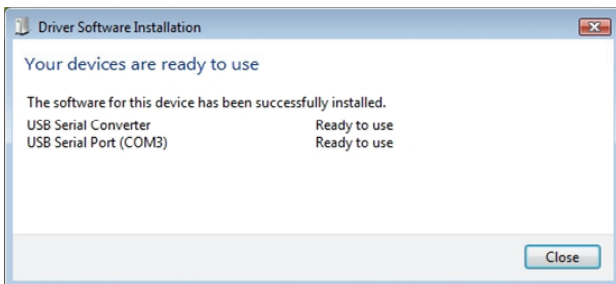


内包されている CD を CD/DVD ドライブに挿入すると、Windows が自動的にドライバをインストールします。Windows が自動的にドライバを確認できない場合、ブラウザ方式で CD/DVD ドライブ及びフォルダ (FTDI USB Driver) を指定してください。



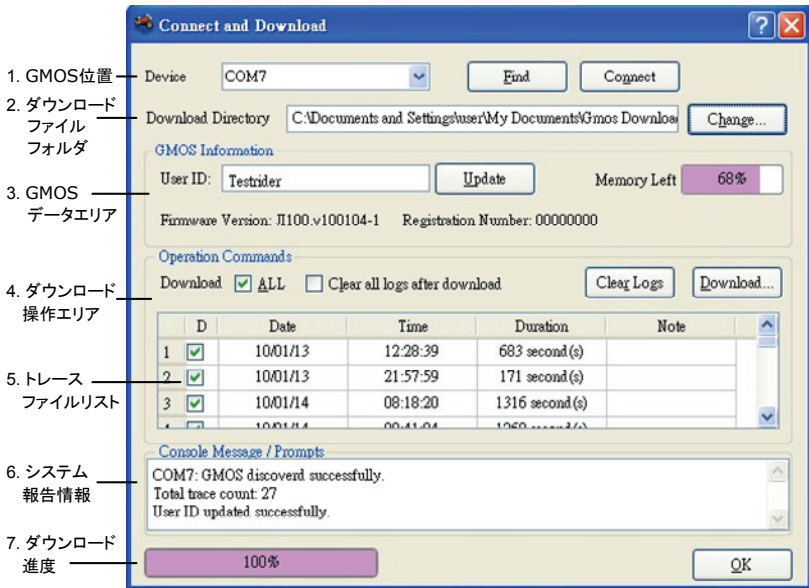
Windows がドライバのインストールを完了するまでしばらくお待ちください

い。



- GMOS VR アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動させます。ファイルリストを選択し、Download (ダウンロード) をクリックすると、Connect and Download (接続及びダウンロード) ダイアログが表示されます。続いて、GMOS VR ユーザーマニュアルの説明に沿って、トレーサファイルをダウンロードしてください。

## ダウンロードダイアログ



下記リストはダウンロードダイアログの機能及びその紹介です。

項目名	機能
1 GMOS 位置	本体の位置を探知し、本体に接続します。
2 ダウンロードファイルフォルダ	トレースファイルのダウンロードストレージの目的データフォルダを表示します。初期設定のストレージデータフォルダは C:\Documents and Settings\Administrator\ My Documents\ Gmos Download Traces\ です。目的データフォルダを変更したい場合は、傍にある Change ボタンをクリックしてください。
3 GMOS データエリア	本体データ(ユーザー名、ファームウェアバージョン、登録番号、メモリの残容量(%))を表示します。

4	ダウンロード操作エリア	本体に記録されたトレースファイルリストを表示し、トレースファイルに <b>注釈</b> を加えたり、トレースファイルをダウンロードすることができます。
5	トレースファイルリスト	GMOS 本体に記録されたトレースファイルをリストアップします。
6	システム報告情報	システムの状態、GMOS 本体の全報告情報を表示します。
7	ダウンロード進度	ダウンロードの進度(%)を表示します。

## ダウンロードの手順

PC モニターにダウンロードダイアログが表示されたら、以下の手順に従ってトレースファイルをダウンロードしてください。

### 1 GMOS 本体を検知し、連結する

ダウンロードダイアログの上方中ほどにある Find(検知)ボタンを押してください。GMOS VR が自動的に本体の接続ポートを探し出し、Device List フレーム内に位置を列挙します。GMOS VR が GMOS 本体を差だし出せない場合、本体と PC がきちんと接続されているかどうか、また FTDI USB ドライブプログラムがインストールされているかどうか、ご確認ください。

GMOS 本体の接続ポートの位置が Device(本体)フレーム内に表示されたのを確認した後、Connect(接続)ボタンを押して本体と接続してください。接続成功後、本体のデータは GMOS Information Area(本体データエリア)内にリスト化されると同時に、本体に記録されたトレースファイルもトレース

スリスト内に表示されます。

## 2 ダウンロードデータフォルダを選択

初期設定のダウンロードデータフォルダは、C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents\Gmos Download Traces\です。ダウンロード目的データフォルダを変更したい場合、右にある Change(変更) ボタンを押して、必要な目的データフォルダを選択ください。

## 3 トレースファイルに注釈を加える

トレースファイルをダウンロードする前に、トレースファイルに注釈を加えることができます。注釈は英数字に限られ、10 文字以下となります。注釈を加えたい場合、トレースファイルの Note(注釈)のフレームをダブルクリックして、ポップアップされたウィンドウに注釈を入力してください。入力した注釈はダウンロードのトレースファイル内に、「注釈-日付-時間.sa」の順で配列されます。

## 4 ダウンロードしたいトレースファイルを選択する

システムは自動的に全てのダウンロード可能なトレースファイルを選択します。一定のトレースファイルを選択したくない場合は、そのトレースファイル傍のブロックをダブルクリックして選択と取り消してください。または、ALL 傍のブロックのチェックを取り消して、全てのトレースファイルの選択を解除することもできます。

## 5 ダウンロード開始

Download(ダウンロード)ボタンを押すと、すでに選択したトレースファイル

がダウンロードされます。ダウンロード開始後、Download ボタンは Cancel(取消)ボタンとなります。ダウンロード中、随時 Cancel ボタンを押してダウンロードを停止させることができます。

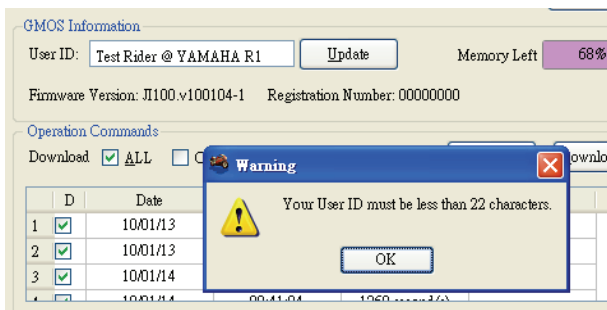
## 6 トレースファイルの毀損

あるトレースファイル上にシステムが corrupted と表示したら、これはトレースファイルが完全でない GPS データであり、正確な GPS トレースが書き出せないため、ダウンロードできないことを意味します。トラブルシューティング (37 ページ)をご参考ください。

	D	Date	Time	Duration	Note
4	<input checked="" type="checkbox"/>	09/03/21	11:25:41	889 second(s)	
5	<input type="checkbox"/>	80/01/05	07:59:46	38 second(s)	Trace corrupted.
6	<input type="checkbox"/>	24/52/107	192:133:29	4 second(s)	Trace corrupted.

## ユーザー情報の更新

ユーザー名を追加または変更したい場合、GMOS データエリアの User ID(ユーザー名)フレームに入力し、傍にある Update(更新)ボタンを押してください。尚、ユーザー名は、英数字のみ使用でき、最長 22 文字であることにご注意ください。< > | : \* ¥ / ?といった特殊文字は使用できません。



## GMOSTレースログの削除


GMOS 本体に記録されたトレースファイルを削除したい場合、操作エリア右の Clear Logs (トレースファイルの削除) ボタンを押せば完了です。またはダウンロード前、Clear All Logs After Download (ダウンロード後、トレースファイルを削除) 傍のブロックのチェックを選択する方法もあります。ダウンロード完了後、本体のトレースファイルは自動的に削除されます。尚、トレースファイルは一旦削除されると復元できませんので、ご注意ください。

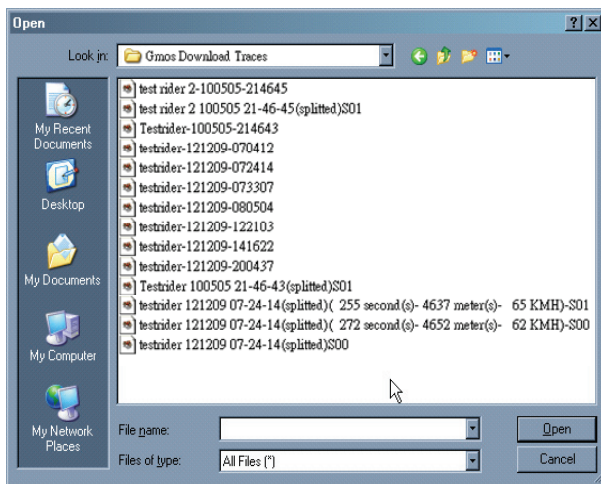


# 4 トレース操作

本章では、ダウンロードしたトレースファイルの操作方法について説明します。

## トレースファイルのロード

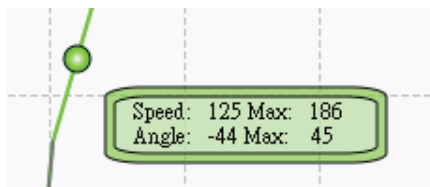
ロードダウンロードが完成したトレースファイルをロードしたい場合、 アイコンをクリック、または File オプショで Open (ロード) を選択ください。この時、ロードダイアログが表示されます。



GMOSのトレースファイルは全て.saを拡張子名としています。必要なトレースファイルを選択し、Open(オープン)をクリックしてファイルをロードしてください。複数のファイルをロードしたい場合、次の章の説明をお読みください。

ファイルをロード後、システムはマップエリアに当該ファイルのGPSトレースを描き出し、上部にバイクマーカーでオートバイの位置を表示します。バイクマーカーの傍にデータフレームがあり、フレーム内に現在の速度、現在の傾斜角度、現

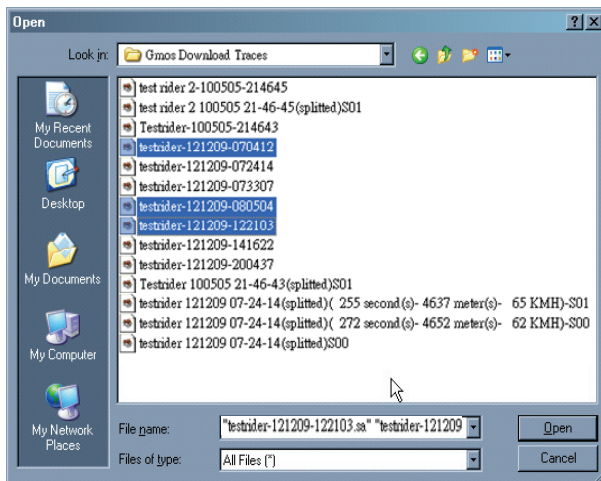
在の再生速度での最高速度及び最高角度といった今回走行のリアルタイムモーションデータが表示されます。角度の数値がプラス値である場合は右傾斜角で、マイナス値である場合は左傾斜角です。バイクマーカーとデータフレームの色とトレースの基本カラーは一致します。




トレースをロード後、トレースのコントロールパネルもトレースリスト内に表示されます。コントロールパネルではトレース操作のオプションを設定することができます。詳細説明については、15 ページを参考ください。

## 複数のトレースファイルのロード

同時に最高 5 つのトレースをロードして、走行テクニックを比較したり、バーチャルレースを行うことができます。トレースファイルは自分のものでも、別の人が走行したものでも構いません。但し、トレースのお互いの位置が大きく離れている場合、同時にマップエリア内に描くことはできません。複数のトレースファイルを選択してダウンロードする場合、まずロードダイアログを開いてください。続いて、キーボードの Ctrl キーを押して、ロードしたいトレースファイルをクリックし、右下の Open(オープン)ボタンを押すとすぐにロードされます。



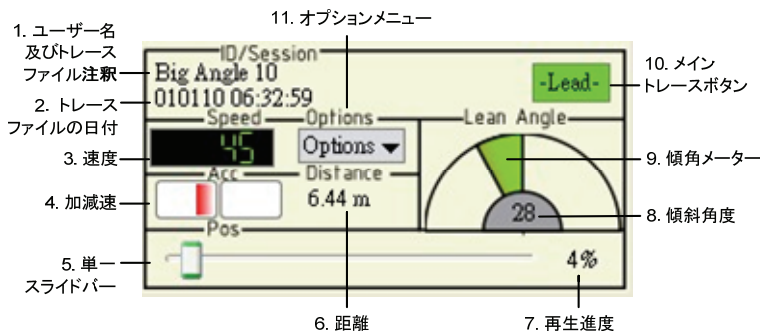
## トレースファイルのアンロード

また、同時に全てのロードしたトレースファイルをアンロードしたり、トレースファイルアンロードを1つだけアンロードすることもできます。全てのトレースファイルをアンロードしたい場合、File オプションで Unload (アンロード) を選択、または  ボタンを押してください。1つのトレースファイルをアンロードしたい場合、該当のトレースファイルコントロールパネルの Options (オプション) で Unload (アンロード) をクリックしてください。

尚、メイントレースはコントロールパネルの Options で単独アンロードができないことにご注意ください。アンロードしたいトレースがメイントレースの場合、まず別のトレースをメインとトレースと設定してから、本来のメインとトレースのコントロールパネルに戻ってアンロードしてください。詳細説明については、16 ページをご参考ください。

# コントロールパネルの概要

コントロールパネルにはトレースファイルの走行モーションデータが表示され、各種トレース操作を行うことができます。



以下、コントロールパネルの機能をご紹介します。

項目名	機能
1 ユーザー名及びトレースファイル注釈	GMOS 本体のユーザー名及びトレースファイルの注釈を表示します。
2 トレースファイルの日付	トレースファイル記録の日付及び時間を表示します。
3 速度	オートバイのリアルタイム速度を表示します。
4 加減速	オートバイのリアルタイム加減速を表示します。右へ延びる緑ゲージは加速(プラス G 値)を、左へ延びる赤ゲージは減速(マイナス G 値)を意味します。
5 単一スライドバー	バイクマーカーでトレースした前後移動で、位置を調整します。

6	距離	当該トレースのオートバイとメイントレースのオートバイ間の距離間を表示します。
7	再生進度	再生進度(%)を表示します。
8	傾斜角度	リアルタイムに傾斜角度を表示します。
9	傾角メーター	傾斜角度について画像で具体的に表示します。
10	メイントレースボタン	複数のトレースのロード時、メイントレースを設定します。
11	オプションメニュー	トレースの操作オプション(隠しトレース、トレースの上下移動及トレースのアンロード)を提供します。

## コントロールパネルの使用

コントロールパネルでは、メイントレースの設定、トレース表示方法の設定及びバイクマーカーのお好きな位置への移動を行うことができます。

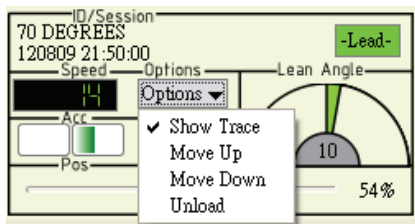
### メイントレースの設定:

1つのトレースファイルをメイントレースと設定すると、当該トレースのバイクマーカーがマップエリアカメラの焦点となり、つまり、マップエリアがメイントレースのバイクマーカーを中心に移動します。メイントレースのデータフレームは全てのロードトレースデータフレームの最上層に位置します。メイントレースを下層に移動させても、データフレームは最上層を維持します。

あるトレースをメイントレースとして設定したい場合、当該トレースのコントロールパネル右上方の Lead(メイントレース)ボタンをクリックしてください。メイントレースボタンが Lead と表示されます。

## オプションメニュー:

オプションメニューには以下のように4つのオプションがあります。

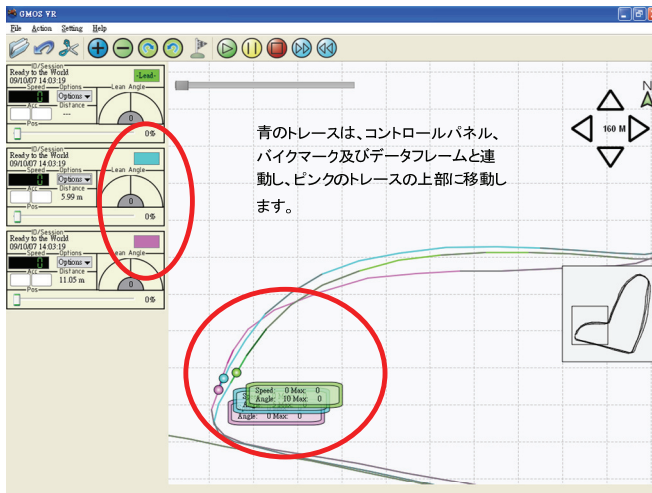
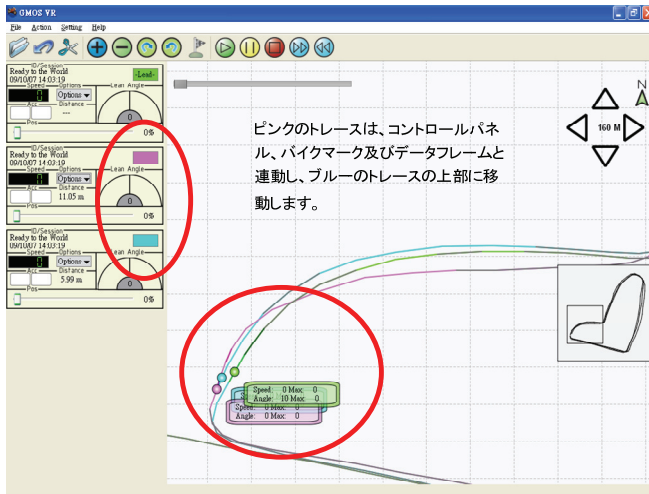


### ■ トレースの表示

トレースのロード時、当該トレースの Show Trace (トレース表示) オプションが初期設で自動的にチェック選択されています。あるトレースを一時的に現在のマップエリアに表示したくない場合、Show Trace をクリックするとチェックが解除され、このトレースは一時的に隠れます。隠れたトレースを表示したい場合は、再度 Show Trace を 1 回クリックしてください。尚、メイントレースは隠せませんのでご注意ください。

### ■ 上へ移動

全てのダウンロードしたトレースファイルを同一ルートに置きたい場合、これらのトレースは互いに重なり合う可能性があります。覆い隠されたトレースを表示したい場合、当該トレースオプションメニュー内の Move Up (上へ移動) をクリックすると、当該トレースはバイクマーカとデータフレームとともに一層上へ移動します。続けて Move Up をクリックし続けると、このトレースは最上層まで移動します。



## ■ 下へ移動

トレースを一層下へ移動させたい場合、オプションメニュー内の Move Down (下へ移動)をクリックしてください。

## ■ トレースファイルのアンロード

あるトレースファイルをアンロードしたい場合、オプションメニュー内の Unload (アンロード)をクリックしてください。当該トレースはコントロールパネルと連動して、除去されます。

アンロードしたいトレースファイルがメイントレースの場合、まずトレースの Lead (メイントレース)ボタンをクリック選択し、別のトレースをメイントレースとしてから、アンロードを行ってください。1つのトレースのみをロードする場合、そのトレースが初期設定でメイントレースとなります。この場合、File オプションで Unload (アンロード)をクリック選択してからアンロードを行ってください。

## バイクマーカの移動

バイクマーカの表示は、オートバイのトレース上に位置します。スライドバーを手動でスライドさせて、バイクマーカの位置を調整することができます。このように、トレース再生前にまずバイクマーカの走行開始位置を調整したり、ある一段のトレースを再生して、当該トレースのデータを詳しく観察することができます。GMOS VR は以下 2 種類のスライドバーを提供しています。

## ■ いずれかのスライドバー:

単一スライドバーは、コントロールパネルの下部に位置しています。名前のとおり、単一スライドバーは1つのトレースバイクマーカの位置を調整します。使用する際は、まずトレースの再生を一時的に停止してください。マウスをスライドバー上で左クリックしながら、バーをドラッグしてください。バイクマーカもトレース上で一緒に移動します。




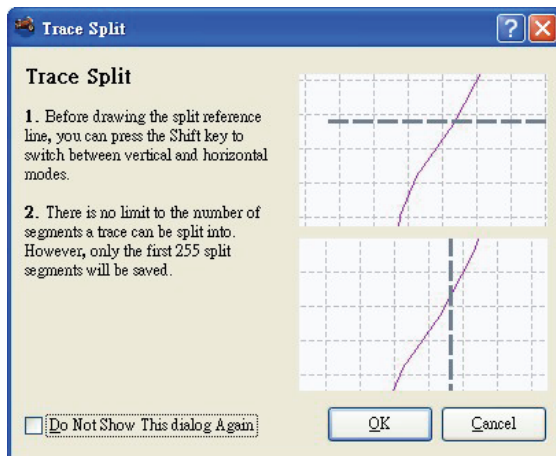
## ■ 全てのスライドバー:

全てのスライドバーはマップエリアの左上角に位置します。スライドバー全体を動かすと、全てのトレースのバイクマーカースが一緒に移動します。使用する際は、まずトレースの再生を一時的に停止して、クリックしながら、スライドバーのバーをドラッグしてください。

## トレースの分割

トレースの分割機能により、1つのトレースを2つ以上のトレースに分けることができます。この機能は、トレースにおいて図形が重複した時(例、道を塞いだ場合)に特別に使用します。また、トレース分割により複数のシングルレースのトレースにして、各シングルレースのパフォーマンスを比較することができます。

分割機能を使いたい場合、Action オプションで Split(分割)を選択するか、直接  アイコンをクリックしてください。その後、Trace Split(トレース分割)ダイアログが表示されます。



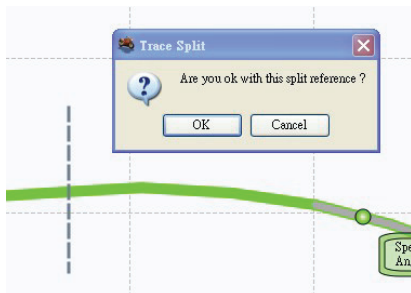
ダイアログ内の分割機能の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

1. Split reference line(参考ラインの分割)の初期設定は垂直モードです。  
参考ラインの分割が描かれる前に、Shift キーで水平モードに切り替えることができます。
2. 単一トレースが分割できる段数には上限はありませんが、保存できるのは最大 225 段までです。

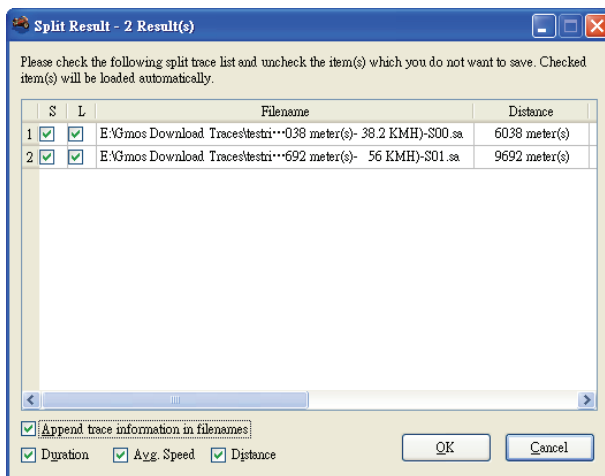
このダイアログが次回表示されないようにしたい場合、左下角の Do Not Show This Dialog Again のブロックにチェックを入れてください。右下角の OK ボタンをクリックすると、トレースの分割がスタートします。

分割開始後、マウスのカーソルが + の形になります。カーソルを分割したい位置に移動させ、マウス左キーを押しながらマウスをドラッグすると、参考ラインがきれいに分割できます。トレース分割機能を終了させたい場合、Esc キーを押してください。

参考ラインの分割を描いた後、Trace Split(トレース分割)ダイアログが表示され、この分割した参考ラインの使用を確定するか、尋ねられます。



再度参考ラインを描きたい場合は、Cancel をクリックしてください。この参考ラインの使用を確定したい場合、OK をクリックすると、分割が行われます。分割後、Split Results(分割結果)ダイアログが表示され、全ての分割データがリストアップされます。



ある分割ファイルを保存したい場合、ファイル名傍のS欄のブロックをチェックしてください。ある分割ファイルを保存、ロードしたい場合は、同時に、ファイル名の傍のS欄とL欄のブロックをチェックしてください。尚、1回につき最大5つのトレースファイルまでロードできることにご注意ください。

分割後のトレースファイルの初期設定ファイル名のフォーマットは、「元のファイル名(splitted)s#.sa」となります。

また、時間の長さ、平均速度、距離といったデータをファイル名の後ろに加えることもできます。分割ファイルを保存する前に、左下角の Append trace information in filenames(ファイル名にトレースデータを追加)傍のブロック

にチェックを入れ、Duration(時間の長さ)、Avg. Speed(平均速度)または Distance(距離)傍のブロックにチェックを入れると完成です。選択保存された分割ファイルは全てトレースファイルのダウンロードデータフォルダ内に保存されます。

## 5 マップ操作

本章はマップエリアの操作について説明します。



### カメラの移動

ここでは Camera(カメラ)はユーザーの視線を代表します。カメラが見る範囲は、オーバービュー内の小さなフレームであり、マップエリアでもあります。カメラの移動とともに、オーバービューのその他のエリアを見ることができ、更にトレースを調べることもできます。カメラの移動方法には以下の 2 種類があります。

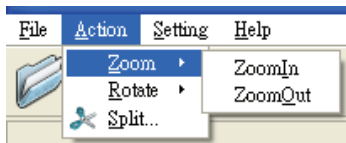
- マップエリア右上のカメラ方向キーを使用します。マウスで方向キー上の矢印をクリックして、カメラを希望の方向に移動させてください。
- 直感式のマップドラッグ法です。マップエリア上でマウスの左キーをクリックして押したままにしていると、マウスのカーソルが手の形になります。カーソルの移動は、マップを移動させたい方向にドラッグしてください。

尚、これらの移動方法は再生停止時または再生一時停止時にのみ使用できます。再生が開始されると、カメラは自動的に元の位置に戻ります。

### ズームイン・ズームアウト



マップのズームアウトまたはズームインマップを行いたい場合、Action オプションで Zoom(ズーム)を選択し、続いて ZoomIn(ズームイン)または ZoomOut(ズームアウト)を選択してください。または直接ツールリスト上の  をクリックしてズームイン、または  をクリックしてズームアウトすることができます。

ます。

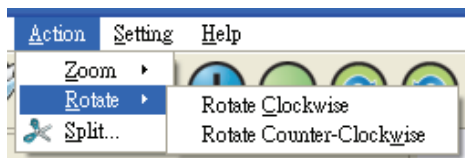


ズームイン・ズームアウトのルーラーは計 22 の距離レベルがあり、カメラから地面の高度により分かれています。160メートルの高さから80キロメートルの高さまで、または 525 フィートの高さから 50 マイルの高さまでズームできます。




## マップの回転

マップを時計方向または時計と逆方向に回転させ、トレースを更に調べることができます。Action オプションで Rotate(回転)を選択し、続いて Rotate clockwise(時計方向に回転)または Rotate Counter-Clockwise(時計と逆方向に回転)を選択ください。或いは、直接  または  アイコンをクリックしてください。1 回押すごとに、マップは 15 度回転します。

尚、これらの回転機能は再生停止時または再生一時停止時にのみ使用できます。再生が開始されると、カメラは自動的に元の方角に戻ります。



## マップポイント

一般の再生モードで、メインレースのバイクマーカをモニターの固定位置で保持すると、マップエリアのトレースはバイクマーカに動きに沿って移動します。マップ打ち付け機能を使用すると、マップが移動しなくなり、代わりにバイクマーカがモニター上で移動します。マップ打ち付け機能を使用したい場合、ツールリストの  アイコンをクリックしてください。この時、マップエリアの左上角に  が表示され、これはマップの停止移動を意味します。マップ打ち付け機能を解除したい場合は、再度  アイコンをクリックすれば解除されます。

マップ打ち付け機能は、再生前でも再生中でも起動できます。起動後、カメラの移動、マップのドラック、ズームを行ったり、手動でマップエリアをバイクマーカに沿って移動させることができます。



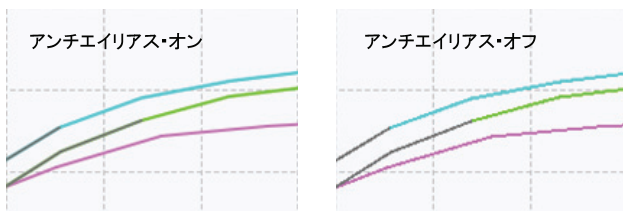
## 6 ディスプレイ設定

Settings(設定)オプションでトレースまたはマップエリアの表示設定を変更することができます。設定は全てユーザー自身の PC でのみ有効です。他の PC にエクスポートして使用することはできません。

Settings オプションには、以下の 4 項目があります。

### アンチエイリアス

AntiAliasing(アンチエイリアス)機能は、システムの初期設定では起動となっています。この機能はトレースのふちをより滑らかにしますが、PC リソースもより消耗します。



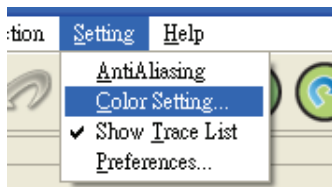
アンチエイリアス機能をオフにしたい場合、AntiAliasing をクリックしてチェックを取り消してください。



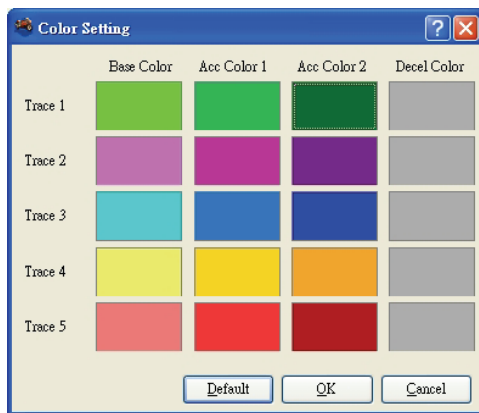


## カラー設定...

Color Setting...(トレースのカラー設定...)オプションにおいて、各トレースのカラーを指定できます。



Color Setting... をクリックして、Color Setting ダイアログを開いてください。



各トレースには4つのカラーがあり、それぞれ Base Color(基本色)、Acc Color1(加速カラー1)、Acc Color 2(加速カラー2)、Decel Color(減速カラー)となっています。下記のリストは各カラーの定義をリストアップしています。

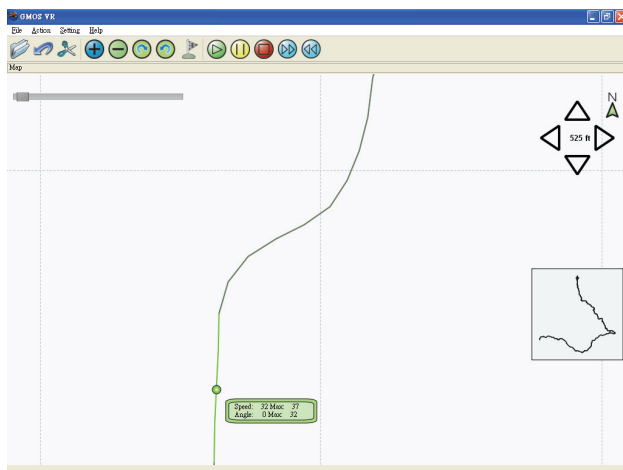
カラー名	定義
Base Color	G 値がプラス値で、且つ本トレースファイル最大 G 値の 1/3

(基本色)	より小さい。
Acc Color 1 (加速カラー1)	G 値がプラス値で、且つ本トレースファイル最大 G 値の 1/3 より大きく、本トレースファイル最大 G 値の 2/3 より小さい。
Acc Color 2 (加速カラー2)	G 値がプラス値で、且つ本トレースファイル最大 G 値の 2/3 より大きい。
Decel Color (減速カラー)	G 値がマイナス値。

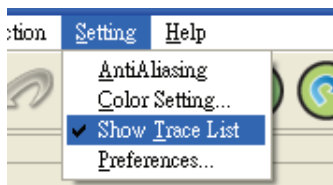
カラーを調整したい場合、当該カラーのカラーブロックをダブルクリックしてポップアップされたカラープレートから希望のカラーを選択してください。

## トレースリストの表示

Show Trace List(トレースリストの表示)機能の起動時、トレースリストエリアがマップエリアの左側に表示されます。トレースリストエリアを隠して、マップエリアの表示を最大限にすることができます。



トレースリストを隠したい場合、Show Trace List をクリックして、トレースリスト表示のチェックを取り消してください。再度トレースリストを表示したい場合は、もう1度 Show Trace List をクリックすると表示されます。

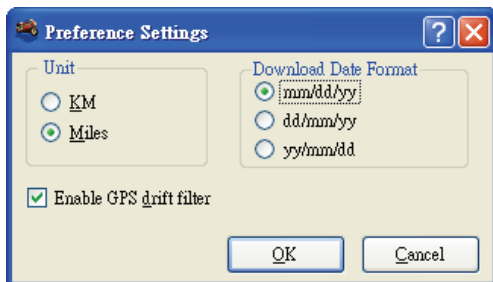


## プレファレンス...

Preferences...(プレファレンス)オプションにおいて、マイル方式またはメートル方式の表示ユニット、ダウンロードファイル時のファイルの日付フォーマット及び GPS Drift Filter(GPS ドリフトフィルター)のオン、オフを指定できます。



変更を行いたい場合、**Preferences...(プレファレンス)**をクリックしてください。この時、Preference Settings(プレファレンス)ダイアログが表示されます。



## **Unit(単位)**

マイル方式またはメートル方式を選択後、データフレームとコントロールパネルの速度単位、そしてズームイン・ズームアウトルーラーのレベル表記もそれに伴い変更されます。この変更はただちに有効となります。

## **Download Date Format (日付フォーマットのダウンロード)**

ダウンロードファイルの日付フォーマットを変更したい場合、好きなフォーマットを選択すればただちに変更されます。この設定は、次回トレースファイルをダウンロードした時点から有効となります。

## **Enable GPS drift filter (GPS ドリフトフィルターの起動)**

GPS の特性により、GPS のシグナル受信が不調の際、時には GPS シグナルがドリフトし、記録した GPS トレースと実際のトレースが微妙に異なる事態が発生します。これは特にオートバイが静止状態または時速 10 キロ以下に減速した際に起こります。GPS トレースを描く際、GPS シグナルのドリフトにより発生する混同を減らすために、GPS ドリフトフィルターが設計されました。これにより、ロードファイルでトレースを作成する際、GPS のドリフトを出来る限り修正します。

GPS ドリフトフィルターの初期設定は起動状態になっています。GPS ドリフトフィ

ルターをオフにしたい場合は、傍のブロックをクリックしてチェックを取り消してください。この変更は次のレースファイルロード時に有効となります。

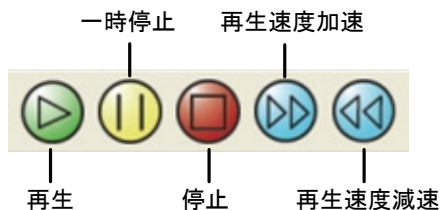
# 7 バーチャルレース操作




## 基本操作

複数のトレースファイルをロードする、または複数レースのトレースファイルを分割するだけで、GMOS VR にて PC 上でバーチャルレースを行うことが出来ます。ユーザー自身のトレースファイルをロードして自身でレースしたり、または別の人のトレースファイルをロードして別の人とレースをすることも出来ます。また、お互いの走行テクニックを比較分析したり、ただ楽しむだけにレースを行うことも出来ます。

尚、ロードするトレースは同一人物のものでなくともよく、また記録時間にも制限はありませんが、お互いの位置が大きく離れている場合、マップエリア内に一緒に描くことはできません。

以下、再生ツールリストのアイコンと機能の紹介です。



項目名	機能
	再生を開始します。
	一時的に再生を停止します。再度再生したい場合は、もう1度  をクリックすれば再生が開始されます。



再生を停止します。







再生速度を加速します。最高で標準速度の 16 倍まで加速することができます。



再生速度を減速します。最高で標準速度の 1/8 倍まで減速することができます。

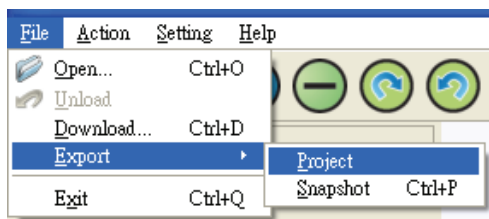
## バイクマーカ位置操作

レース開始前に、トレースのバイクマーカ位置を調整することができます。全てのバイクマーカを同一地点から走行開始するように調整したり、あるバイクマーカを有利にして走行開始させることもできます。走行開始位置を調整したい場合、当該レースファイルのコントロールパネルで、マウスの左キーでパネル上の単一スライドバーを離さないままクリックし、希望の位置までドラッグします。調整後、 を押すとレースが開始されます。

レース中にバイクマーカの位置を調節したい場合、まず  を押してレースを一時停止としてからスライドバーを動かし、バイクマーカの位置を調整してから再度  または  を押して、レースを開始させてください。

## バーチャルレースファイルのエクスポート

あるレースを保存し、再度再生したり友達とシェアしたい場合、当該レースを Project (プロジェクト) として保存することができます。保存する際、File オプションで Export (エクスポート) をクリックしてから、Project をクリックしてください。

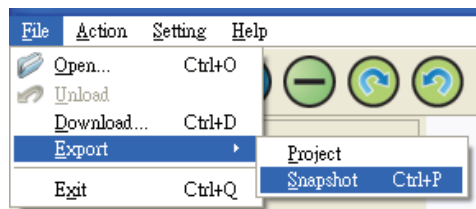


この時、Export Project(プロジェクトのエクスポート)ダイアログが表示されます。プロジェクトの拡張子名は.sap で、ファイルは自動的にダウンロードトレースファイルのデータフォルダに保存されます。

尚、プロジェクトは必ず関連のトレースファイルが保存されている同一のデータフォルダに保存ください。プロジェクトを別の場所に保存あるいはエクスポートする場合、必ず関連のトレースファイルも一緒にコピーしてください。それを行わない場合、プロジェクトは起動できません。

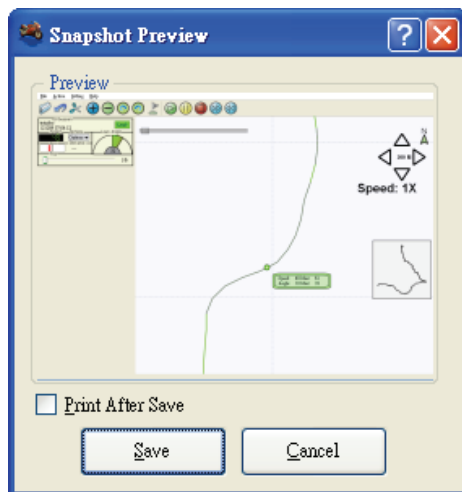
## スナップショットのエクスポート

プロジェクトのエクスポートレース以外に、レース画面のスナップショットも保存または印刷することが出来ます。エクスポート前に、レースの再生を一時停止してからFileオプションでExport(エクスポート)をクリックし、Snapshot(スナップショット)を選択ください。





この時、Snapshot Preview(スナップショットのプレビュー)ダイアログが表示されます。



画面保存後、印刷したい場合、左下角の Print After Save(保存後、印刷)傍のブロックをチェックしてください。Save(保存)をクリックすると、Save As(別名で保存)ダイアログが表示されます。ファイル名を設定し、Save(保存)をクリックすると、スナップショットがファイルとして保存されます。

# 8

## トラブルシューティング

### ■ **GMOS VR が GMOS 本体を確認することができません。**

GMOS VR が GMOS 本体を確認することが出来ない場合、以下のステップに沿って点検してください。

1. GMOS 本体の電源がオンになっているか、また電池の電力は十分か、ご確認ください。
2. 再度 USB ケーブルを PC と GMOS 本体に接続させてみてください。
3. FTDI USB ドライブプログラムがインストールされているかどうか、ご確認ください。

### ■ **Corrupted(毀損)トレースファイルの Corrupted(毀損)とは？**

GMOS にトレースを記録する際、GPS シグナルが弱い場合、受信不良を引き起こし、記録したトレースファイルが GPS データとして不完全となり、GPS トレースが描けなくなる可能性があります。GMOS VR にダウンロードする際、自動的にこのようなトレースを選び出し、Corrupted(毀損)と表示します。毀損トレースファイルはダウンロードできません。

### ■ **トレースファイルが PC にダウンロードできません。**

これは以下の 3 つの可能性あります。

1. トレースファイルの毀損。
  2. トレースファイルが短かすぎる、または長さがゼロである。
  3. トレースファイルのフォーマットが正確ではない。
- 3 番目は GMOS 以外のセンサーで本体と接続した場合にのみ発生しません。



機能及び仕様は予告なしに変更する場合があります。  
最新版のマニュアルは弊社サイト [www.speedangle.com](http://www.speedangle.com) まで。

Copyright © 2010 SpeedAngle Inc. All rights reserved